

きほんの講座

① - 1

定員 50名



託児付

◆カレッジデビュー講座

講座番号 ① - 1

時間：午後2時～4時

場所：築地社会教育会館

回数：5回

受講料：1,500円

主 題 まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。科学、古典やお囃子など…それぞれの分野で活躍されている方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/13 (水)	石灰岩洞窟の発掘調査から旧石器時代人の暮らしを探る	澤浦 亮平
第2回	5/27 (水)	科学は生活にどう役に立つのかー科学のトリセツー	谷口 正樹
第3回	6/24 (水)	町の文学～日本橋を中心に	内田 保廣
第4回	7/15 (水)	地の恵み スパイス&ハーブ～歴史に息づく香りと魅力	磯部 友美
第5回	7/29 (水)	“囃子”とは何だろう～江戸祭囃子と歌舞伎囃子～	藤田 和也(鳳聲月晴)

講師紹介

澤浦 亮平 (さわうら りょうへい)

鎌倉女子大学 教育学部 講師。慶應義塾大学大学院 修士(史学)。東北大学大学院 歯学研究科 博士(歯学)。沖縄県立博物館・美術館学芸員を経て2025年より現職。専門は骨考古学、博物館学。石灰岩洞窟の発掘調査を進め旧石器時代の動物利用の研究に取り組んでいる。

谷口 正樹 (たにくち まさき)

(国研)産業技術総合研究所 経営企画本部 役員秘書室 室長。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了(工学博士)。1993年に大阪工業技術研究所(現産業技術総合研究所関西センター)に入所し、光学やVRを研究。2002年に東京転勤を機に経営企画部署に転出し、産学官・国際連携等を担当。2025年より現職。

内田 保廣 (うちだ やすひろ)

共立女子大学名誉教授。1946年日本橋室町生まれ。幼稚園は区立常盤幼稚園。慶應義塾大学に進学し、大学院修了後、品川区の国文学研究資料館に就職、その後千代田区の共立女子大学教授を経て2017年3月退職。2020年中央区功労者表彰受賞。

磯部 友美 (いそべ ゆみ)

エスピー食品 スパイス&ハーブマスター。広報・IR室 所属。2008年に社内資格「スパイス&ハーブマスター」に認定。所定の研修の他、営業・企画・広報の経験も活かしながら、セミナー講師やメディアでの情報発信、メニュー提案を通じてスパイスとハーブの魅力を伝えている。

藤田 和也 (鳳聲月晴) (ふじた かずや (ほうせい つきはる))

東京藝術大学卒業。昭和音楽大学非常勤講師。日本舞踊や歌舞伎公演の演奏、江戸祭囃子や獅子舞などで活動。都内のみならず、日本全国で様々な公演に演奏で参加。最近ではテレビ・ラジオ出演や自主公演も多く行い、邦楽と洋楽のクラブ企画や構成、演出なども多く手がけている。

マークのご案内



託児付

「託児付講座」を用意しています。

原則2歳6カ月以上の未就学児をお預かりします。子育て中の親御さんのご参加をお待ちしています。1歳から2歳6カ月未満のお子様については、託児申し込み状況によりお預かりいたしますが、2歳6カ月以上のお子様を優先とさせていただきます。なお、お子様連れでの受講はできませんので、ご了承ください。

◆おとなのしゃかいか

～安心して暮らすためのお金の活用方法～

主 題 全世代を対象に、資産運用に関連する知識を、社会や社会生活との関わりという観点から学び、自身の家計や将来の経済に活かして行くための講座です。

日本では、近年、物価の上昇が続き、30年ぶりに金利のある世界が戻ってきました。このように金融と経済の環境が大きく変化するなかで、私たちは、個人の資産をどのように守り、形成して行けばよいのでしょうか。ここでは、資産運用が初めて

の方向けに正しい基礎知識を習得することを目指し、すでに資産運用を行っている方には、正しい情報を精査し、自身の資産形成の判断力をさらに高めることを目指します。

経済・金融を体系的につかむことで、政治や社会との因果関係を理解し、身近なニュースから金融・証券市場などの大局的な流れを自ら考えるための知識を学びます。

企画・協力：特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会

講座番号 ①－2

時 間：午後6時30分～8時

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	5/12 (火)	今の時代に知っておきたい資産運用の基本知識	特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会
第2回	5/26 (火)	NISA や iDeCo の制度改正と利用方法	
第3回	6/ 9 (火)	ニーズに合わせた投資信託による運用の基礎知識	
第4回	6/23 (火)	経済・株式ニュースの見方、取り方	
第5回	7/ 7 (火)	質問と回答・パネルディスカッション「私の資産運用の経験」	

講 師 紹 介

特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会とは

特定非営利活動法人 金融と証券を学習する会は、広く一般市民を対象として、経済、金融、証券、証券投資に関する知識を普及・啓発する活動を行い、社会教育における公益の増進に寄与することを目的として、2016年2月に設立、2017年7月に東京都の特定非営利活動法人に認証されました。金融機関出身のボランティアによる講師が、中立・公正な立場から、長年の経験を基に、市民目線に立った“わかりやすさ”を信条に解説・説明を行っています。現在、東京近郊の公民館での講座開催が活動の中心となっておりますが、一般企業や地方公共団体、大学などの教育機関への出前講座も行っています。



◆超高齢社会を生きる知恵 ～今後の人生を見つめつつ、自分らしく今を生きるために～

主 題 人生には、元気で活動的に過ごせる時期もあれば、誰かの手を借りながら歩む時期もあります。加えて、テクノロジーの進展が、私たちの暮らし方や選択にも影響を与えるようになってきました。長く生きることができる時代だからこそ、支え合いながら生きることの意味が問われています。自分らしさを大切にしつつ、必要なときには頼り、また誰かの支えとなる——そんな互助性を大切にしながら、皆で話し合い、共に考えていきましょう。

長寿社会となった今、ただ寿命を延ばすことを目指すのではなく、「今をどのように生きるか」を静かに見つめ直すことが大切ではないでしょうか。本講座では、生活の安心や健康、言葉の力、金銭や相続の備え、テクノロジーとの関わり方などにも触れながら、喪失と向き合う心の在り方など、人生のさまざまな局面で役立つ知恵を共に学び合います。

世代を問わず、互いの経験に耳を傾けながら、自分らしい生き方を改めて捉え直すための小さなヒントが得られる時間となるよう、進めてまいります。

企画・協力：一般社団法人シニア社会学会

講座番号 ①-3

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	5/21 (木)	気を付けて！シニアをターゲットとしたデジタル犯罪	八巻 睦子
第2回	6/ 4 (木)	「健康食品」のリスク～購入前に知っておきたいこと～	松島 悦子
第3回	6/18 (木)	自分史を書いてみよう ～文章の基礎と「うまく見える」コツ～	柴本 淑子
第4回	7/ 2 (木)	心積もりを共有して健幸に（老活・終活）	谷口 佳充
第5回	7/16 (木)	グリーンケアとグリーンワークの基礎知識 ～喪失の悲しみに寄り添う力と、自ら向き合う力～	中村 昌子

講 師 紹 介

八巻 睦子 (やまき むつこ)

シニア社会学会運営委員。お茶の水女子大学大学院修了後、セキュリティサービス企業の研究開発部門等を経て2019年よりIT企業であるユニアデックス株式会社に所属。介護のICT活用やシニアのスマートフォン利用実態調査など、高齢社会を支えるテクノロジーをテーマに研究活動を行っている。共著に『M2M/IoT 教科書』（インプレス）など。

松島 悦子 (まつしま えつこ)

シニア社会学会理事、お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了、博士（社会科学）。消費生活アドバイザー。お茶の水女子大学食物流学科卒業後、東京ガス都市生活研究所などで生活者について研究。働きながら大学院で社会学を学び、母校の大学教員。その後、和洋女子大学准教授。専門は、食社会学。単著に『子育て期女性の「共食」と友人関係』（風間書房）、編著に『白熱教室 食生活を考える』（アイ・ケイコーポレーション）など。退職後は、食の安全を中心に研究。

柴本 淑子 (しばもと よしこ)

編集者兼フリーライター。シニア社会学会理事。お茶の水女子大学文教育学部を卒業し、日本経済新聞に入社。日経退社後は長く雑誌編集に関わる。『たまごクラブ』（ベネッセ）『ひよこクラブ』（ベネッセ）『毎日が発見』（角川）各誌元編集長。上智大学新聞学科、東洋大学理工学部の非常勤講師として計14年間文章を指導。現在キーコーヒー株式会社社外取締役を兼務。

中村 昌子 (なかむら よしこ)

シニア社会学会理事、グリーンカウンセラー、ペットロスカウンセラー、上智大学グリーンケア研究所認定臨床聴士、ちばSDGsパートナーEmpathy代表。32年間勤めたJALを早期退職後、母校、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士課程を修了し「社会デザイン学」学位取得。市川市環境部自然環境課地域猫活動団体運営。公立小学校外国語活動指導員9年目。シニア世代の働き方を研究しつつ、自ら地元で複業を実践しています。

谷口 佳充 (たにくち よしみつ)

三井住友信託銀行信託開発部 超高齢社会担当部長。木造建築士兼不動産鑑定士。元法制審議会民法（遺言関係）部会委員。東京大学高齢社会総合研究機構で「アドバンス・ライフ・プランニング」を研究中。人生100年応援信託、おひとりさま信託、ペット遺言信託、ハウジングウィルなどを開発。

きほんの講座 ①－４

定員 20 名（10 名は中央区、10 名はボランティアセンターで募集）

◆ボランティアのための“きほんの傾聴”講座

主 題 人と人との繋がりが希薄になっている現代、情報に溢れていても孤独や孤立を感じ、つらい思いをされている方がおります。「傾聴」には、“相手の気持ちに寄り添って、相手の心を聴く”という基本姿勢があります。ボランティア活動においても重要なスキルである「傾聴」を学んで、周りの方とのコミュニケーションや対人支援に役立ててみませんか。

『聴く』ためにはある程度の研修が必要です。この講座は『傾聴』の理論とともに体験学習を重視していますので、実践的能力が身につく、コミュニケーション能力のアップにつながります。

※この講座は全ての回にご参加いただくことを前提に、受講生同士で体験学習を行いながら順序立てて理解を進めていきます。

講座番号 ①－４

時 間：午後 1 時～4 時

場 所：中央区社会福祉協議会

回 数：4 回

受講料：2,000 円

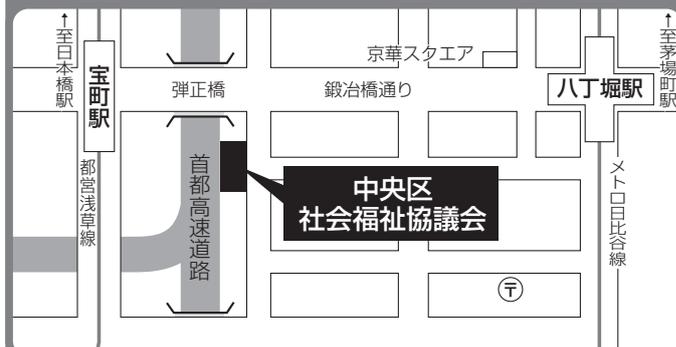
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/29 (金)	傾聴を知る、傾聴を体験する	NPO 法人 P.L.A 専任講師
第2回	6/ 5 (金)	受容的、肯定的に聴く	
第3回	6/12 (金)	共感的に聴く	
第4回	6/19 (金)	講座のまとめ	

講師紹介

NPO法人パートナーシップ アンド
リスニング アソシエーション (P.L.A) とは

「“聴くこと”のできる人を育てる」ため、2005 年 11 月に発足。年間 200 回以上の講座を開催し、傾聴ボランティア活動の普及に大きく貢献している。高齢者のための傾聴ボランティア養成を柱とし、コミュニケーション向上のための傾聴、ボランティアのための傾聴、施設職員のための傾聴、被災者支援のための傾聴など現代社会で必要とされる「傾聴」をより受講生の立場に沿った理論と実技とを取り入れた内容でどなたにも理解できるようにプログラムされている。

会場図



中央区八丁堀4-1-5 ☎3206-0560

本講座のボランティアセンターでの募集 10 名（4月）

定員の半数はボランティアセンターで募集します。
区内在住・在勤・在学の方がお申し込みできます。

【申し込み方法】

ボランティアセンターのボランティア情報紙「月刊キャッチボール」4月号（4月1日発行）および中央区社会福祉協議会ホームページ（<https://www.shakyo-chuo-city.jp/>）にてご確認ください。





託児付

(7/4を除く)

きほんの講座

①-5

定員 24名

◆もの・ひと繋がる銀座のまち

講座番号 ①-5

主 題 世界有数の商店街「銀座」を舞台にお店同士が絆を深め、街の魅力を発信しよう！という活動が2020年に始まり、銀座にゆかりある人々やイベントなどを巻き込みながら、今では銀座以外の地域にまで広がっています。この取り組みの名前は「銀座 ものひと繋ぎプロジェクト」。

この講座では、このプロジェクトに協力された方々からおはなしを伺いながら、参加者の皆様と共に「銀座・偏愛MAP」を作成いたします。最終回には実際に銀座めぐりをしながら、新たな銀座の魅力を体感しましょう。

【ご受講に際して】

参加者は、銀座の推しスポットを発表し、現地に足を運んでいただきます。

企画・協力：銀座ものひと繋ぎプロジェクト事務局

街歩き協力：中央区文化財サポーター協会

時 間：午前10時30分～正午

場 所：築地社会教育会館

※第5回は現地集合・解散です。施設営業時間などにより講座時間が前後する場合があります。

回 数：5回

受講料：1,500円

回数	日程	講義内容	講師名	聞き手
第1回	5/30 (土)	【クラスワーク】銀座の推しを共有しよう	斉藤 大地	
第2回	6/ 6 (土)	【無印良品 銀座】 FIND GINZA	柳 俊輔	斉藤 大地
第3回	6/13 (土)	【松屋銀座】百年の歴史遺産	田代 健	
第4回	6/20 (土)	【銀座丸八】銀座と共に300余年	松澤 芳邦	
第5回	7/ 4 (土)	銀座めぐり	中央区文化財サポーター協会	

講 師 紹 介

柳 俊輔 (やなぎ しゅんすけ)

銀座もの・ひと繋ぎプロジェクト プロジェクトマスター、(株)良品計画 無印良品 店長。1978年生まれ、2002年良品計画入社。2021年より、無印良品 銀座6F「Coffee & Salon」にて開催している、銀座のひととひとを繋ぐ「銀座ひと繋ぎBar」を立ち上げる。並木通り沿いの無印良品 銀座はこれまでも、これからも、銀座の地を訪れる人や関わる人たちがそれぞれの想いを馳せたり、実際に出会い、つながりが生まれる場であることを目指していきます。

田代 健 (たしろ たけし)

前・東京ファッション専門学校校長、(一社)東京都服飾学校協会理事長。1983年上智大学卒業後、(株)松屋入社。宣伝、装飾、販売促進、文化行事などの部門を歴任。2012年松屋グループ内の服飾専門学校である東京ファッション専門学校校長に就任し、2026年3月に定年退職。2024年からは東京都服飾学校協会理事長に就任。(本年6月退任予定)。松屋グループ内で「松屋の歴史の生き字引」として、『松屋150年史』副編集長、ブランディング講習、松屋銀座開店百周年「温故知新ガイドツアー」の講師などを務め、松屋ブランドの教育と普及を推進。東京シティガイド検定、中央区観光検定にも合格。年間160～180本程の映画を映画館で鑑賞し、映画検定1級を持つ映画通でもある。

松澤 芳邦 (まつざわ よしくに)

銀座丸八(株)代表取締役社長。1994年慶應義塾大学法学部卒業後、三菱銀行に入行。1999年東京三菱証券に出向し、金融法人向け債券トレーディング業務に従事。2003年三菱UFJキャピタルに投資第一部副部長として出向し、ベンチャー企業に対する投資育成業務に従事、2014年に三菱東京UFJ銀行へ帰任する。2015年、家業である銀座丸八に入り現在に至る。銀座丸八は1696年に銀座で創業。329年の歴史を持つ会社です。創業時は菓種業としてスタート。現在は不動産賃貸業をしております。銀座は現在、地価が日本一ですが、銀座がなぜ日本一の街になれたのか、銀座の歴史とともに、その理由を解き明かします。

斉藤 大地 (さいとう だいち)

木挽町よしや三代目、銀座ものひと繋ぎプロジェクト代表。中央区生まれ、銀座の小中学校を卒業。大学を経て、歌舞伎座裏木挽町にある創業100年の老舗和菓子店「木挽町よしや」の三代目として、二代目と共に味と技術を守り伝えている。2020年4月コロナによる苦境を街の絆で乗り越えようと、老舗商店などが物々交換を繰り返しながら街の魅力を発信する「銀座ものひと繋ぎプロジェクト」を立案。本プロジェクトは4ヶ月で100商店以上の参加を迎え、老舗商店から大手企業、銀座以外のエリア(日本橋、浅草、鎌倉)にまで輪が広がり、現在も拡大している。2023年銀座の魅力を発信するWebサイト「ギンザプロデュース24」を立ち上げた。

◆落語の中の江戸の風景

主 題 落語とは、噺家が座布団と扇子・手拭いという3つの仕掛けを使い、その言葉と仕草とを通してお客様を様々な物語の中に招き入れてゆく話芸です。私たちがおはなしの世界へ入り込み、登場人物の喜怒哀楽に触れることで感動が生まれます。この講座では、古典落語の正統派として第一線で活躍中の金原亭小馬生師匠によるおはなしと金原亭馬生一門による実演を通じて、落語の魅力を楽しく体感していただきます。

講座番号 ①－6

時 間：午後6時30分～8時

場 所：築地社会教育会館

回 数：3回

受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	6/ 8 (月)	「江戸ッ子」が描かれた落語	金原亭 小馬生
第2回	7/ 6 (月)	江戸の名所が描かれた落語	
第3回	8/ 3 (月)	江戸の行事が描かれた落語	

講師紹介

金原亭 小馬生 (きんげんていこばしょう)

落語家 真打（一般社団法人 落語協会所属）。2000年十一代目金原亭馬生に入門し、前座名「駒介」で楽屋入り。2003年二ツ目に昇進し「馬吉」に改名。2015年に真打へ昇進し、二代目金原亭馬玉を襲名。

2024年より金原亭小馬生と改名した。落語家としての実力はもとより日本舞踊や邦楽にも優れており、端正で無駄のない所作と耳によく通る美しい声の特徴の古典落語正統派真打である。



講師 金原亭小馬生

共演者紹介

金原亭 小駒 (きんげんていここま)

金原亭 馬太郎 (きんげんていうまたらう)

落語家二ツ目（一般社団法人 落語協会所属）。十一代目金原亭馬生に入門。古典落語及び邦楽や日本舞踊など幅広い芸能を丹精している。



金原亭小駒



金原亭馬太郎



◆笑いの伝統芸能 ～「狂言」を楽しもう～

(8/27を除く)

講座番号 ① - 7

時間：午後2時～4時

※第4回は午後2時開演

場所：築地社会教育会館

※第4回は観世能楽堂に現地集合・解散

回数：4回

受講料：1,200円

観劇料：3,500円

主 題 600年の歴史を持つ、和楽の伝統芸能「狂言」。庶民の日常を題材に、人間誰しもが身に覚えのありそうな心の動きを、大らかで素直な笑いとともに表現するのが狂言です。その舞台はとてもシンプル。観る人の想像力に訴えながら、ないものがあるかように見せる、遊び心に富んだその技術は「素手の芸」ともいわれます。

この講座では、第一線で活躍中の狂言師による演者ならではの視点を交えた講義と、小舞や狂言の体験を中心に、能舞台での観劇を通して、より気軽にかつ深く、狂言を楽しんでいただくことを目指します。

企画・協力：万作の会

※この講座は、はじめて受講される方が優先されます。

※講義内容は前後する場合がありますのでご了承ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	6/25 (木)	狂言とは～その歴史と特徴～	石田 幸雄
第2回	7/ 9 (木)	狂言の謡と所作～小舞を題材に～	石田 幸雄
第3回	8/ 6 (木)	狂言とは～実演をまじえて～	石田 幸雄、飯田 豪
第4回	8/27 (木)	公演鑑賞「第115回野村狂言座」	解説付の公演を鑑賞します

講師紹介

石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

狂言師。1949年生まれ。野村万作(人間国宝)に師事。重要無形文化財総合指定者。既に大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』を抜く。野村万作・萬斎らとともに国内外を問わず精力的に活動、普及に貢献している。2006年「雙ノ会」で芸術祭大賞、2011年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。「狂言師『石田幸雄』のソロ活動」でひとり舞台にも取り組む。



石田幸雄 (撮影：政川慎治)

飯田 豪 (いいた こう)

狂言師。1989年生まれ。野村万作(人間国宝)に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。朝日カルチャーセンター狂言クラス、大学の狂言サークル、松尾塾伝統芸能で狂言を指導。既に『奈須与市語』『三番叟』を抜く。

会場図 (第4回のみ)

